

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部文化振興局
	19054-1	歴史街道遺産活用事業	室名	まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務	款 教育費
② 基本体系	基本施策の方向	01:東海道歴史文化回廊の創造	科	項 社会教育費
	戦略プロジェクト		目	目 文化財保護費

② 目的・概要	対象	市民・文化財所有者
	目的	「東海道歴史文化回廊保存・整備基本計画」に基づき、地域文化財の周知を図り、広く市民活動を行える環境を整備する。
概要	文化財案内看板の設置。 既存散策パンフレットの増刷。	

		27年度	28年度
①	名称	設置した説明番等の数	計画値
	補足	実績値	3
		単位	件
②	名称	補足	計画値
	補足	実績値	
		単位	
③	名称	補足	計画値
	補足	実績値	
		単位	
④	名称	補足	計画値
	補足	実績値	
		単位	

年度計画				年度実績			
				・文化財説明看板等3箇所設置した。 「亀山城西出丸跡」「藩校明倫舎跡」「能古茶屋跡」 ・既存散策パンフレットを増刷した。			
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	732	平均給与額×③
		国庫支出金	500	400	一般職員人件費 ②	732	
	県支出金				所要人員 ③	0.10	
	地方債				臨時職員人件費 ④		
	その他				受益者負担額 ⑤		
	一般財源	850	921		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額	0	0			
	前年度からの繰越額	0	0				
	総人件費		①	732			
	総コスト		⑥	2,053			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	市内の文化財の見学者等の利便を図るため、「東海道歴史文化回廊保存・整備基本計画」「亀山市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財説明看板等を3箇所設置するために国交付金を利用した。 発行済み散策パンフレットの配布を進め、不足分を増刷し、見学者等の要望に応えた。	A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	説明番看板等の必要個所や、住民からの要望箇所が多く、市民や見学者等の要望に対処できていないため、説明看板等設置事業を引き続き実施する必要がある。
	【改善の方向性】	計画的に説明番看板等の設置を進めるため、国・県補助事業などを積極的に活用する。 住民との協働等による説明板設置やパンフレット作成を進める。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切